

第1学年7組 美術科学習指導案

令和 5年 7月 5日(水)第5校時
授業場所 第2美術室(5階)
生徒数 1年〇組(〇〇名)
授業者 鳥越 真実

1 題材名「マイデザイン」伝える・使う:描 鑑
(領域等A表現(1)イ B鑑賞(1)ア [共通事項]アイ)

2 題材について

(1) 生徒の実態

1年7組の生徒は、興味・関心をもって授業に臨むことができる生徒が多い。また、1回1回の授業での目標や振り返りを生かしながら、次の制作につなぐことができている。制作においても、自分の表現したいものについて、技法を試しながら制作を楽しみ、意欲的に取り組むことができている。反面、アイデアを練ることに時間がかかり、なかなか手が進まない生徒や、1時間の制作の中で集中し続けることが難しい生徒がいるため、机間指導での声掛けや政策の実演、対話等から共にアイデアを出す支援などに取り組んでいる。

(2) 題材設定の理由

本題材は中学校で初めてのデザインの題材であると共に、アクリルガッシュの基礎を学ぶ題材でもある。完成後、クラスロッカーに貼るため、自分らしさが伝わるデザインであることを目指した。デザインの導入として、形の単純化や構成美の要素、色相環を中心とした配色等について触れ、色や配置による印象の違いを学びながらアイデアスケッチに取り組んだ。本制作の前にアクリルガッシュに慣れるため、アクリルガッシュの特徴や筆の使い分けについて学びながら着色を練習した。それらの経験を活かし、筆の使い分けや塗る順番を意識しながら、美しく塗ることを目標として取り組む。また、学校課題研究と関連し、本題材のまとめとして、身近なデザインを紹介する際にピクトグラムについて触れ、防災と美術の関連を生徒に伝える。

3 題材の目標及び[共通事項]

- (1)構成美と色彩及び彩色の仕方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序や絵具の使い方などを考えながら見通しをもって表す。(知識及び技能)
- (2)伝えたい内容やイメージ、伝える場面をもとに、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練るとともに、作品に込められた思いや配色の美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。(思考力、判断力、表現力)
- (3)デザインでの創造活動の喜びを味わい、楽しく自分らしさを基に構想を練り、意図に応じて工夫して表したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。(学びに向かう力、人間性)

[共通事項]

- ア 形や色彩、光などが感情にもたらす効果を理解すること。
- イ 形や色彩の特徴から対象のイメージをとらえること。

4 評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性
<p>知形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技構成美と色彩及び彩色の仕方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。</p>	<p>発自分らしさを伝えるイメージを基に主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。</p> <p>鑑作品に込められた思いや配色の美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>態表美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自分の好きなものを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品に込められた思いと配色の美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などを考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 題材の指導計画(9 時間扱い)

- ・第1次 アクリルガッシュの特徴や用具の活用の仕方について学ぶ……………100分
- ・第2次 色の効果や構成美の要素などを基にイメージを広げ、アイデアを練る……100分
- ・第3次 主題に合わせ、アクリルガッシュや用具を活用し、工夫して表現する……200分
- ・第4次 自他の作品を鑑賞して、表現の意図や工夫から見方や感じ方を広げる……50分

6 材料・用具

【教師】ワークシート、参考作品、筆洗器、プロジェクタ、教師用タブレット

【生徒】アクリルガッシュ、雑巾、新聞紙、資料集、教科書、ファイル、筆記用具、タブレット

7 本時の計画(9/9)

(1) 目標

形や色彩の特徴から対象のイメージをとらえると共に、作品に込められた思いや配色の美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げようとする。

(2) 準備

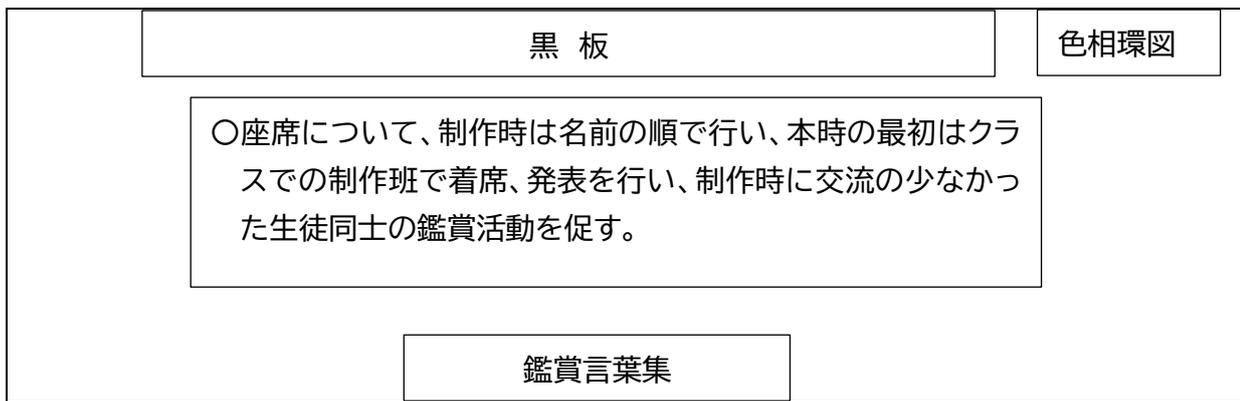
【教師】ワークシート、参考作品、筆洗器、プロジェクタ、教師用タブレット

【生徒】資料集、教科書、ファイル、筆記用具、タブレット

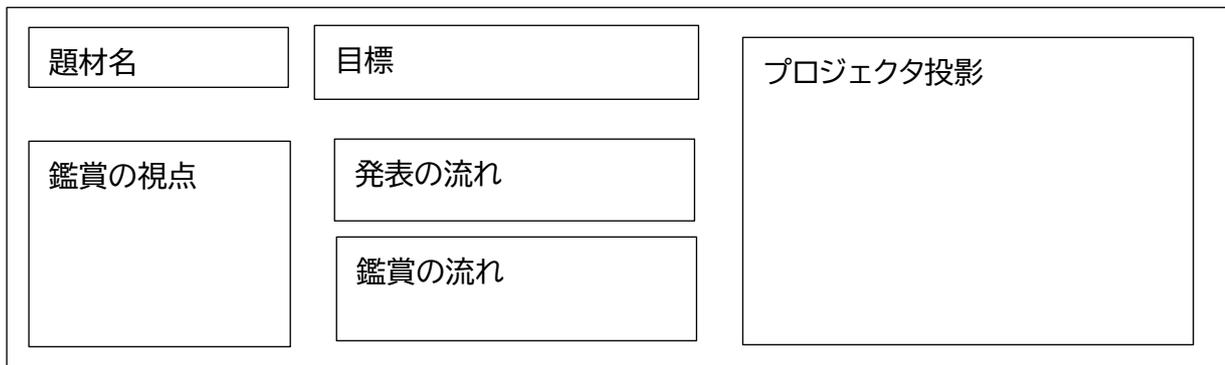
(3) 展開

時間	○学習活動・予想される生徒の姿 言語活動 ☑	☆指導上の留意点 ★評価 ▲C状況の生徒への手立て [共通事項]との関連 <u>ア</u> <u>イ</u>
導入 5分	○本時の流れを知る	☆発表会の流れを確認する。
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>提案 作品に込めた想いやアイデアの工夫を伝えあおう！ 作品や発表から感じたことを伝えあおう！</p> </div> <p>○鑑賞の視点を確認する</p> <p>○班内で発表を行う。発表者は作品を班員全員に見える形で置き、原稿を元にアピールポイントや、配置や色の工夫について発表する。 (1人1分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色や形の工夫を感じ取る ・自分の作品の魅力を言葉にして伝える☑ <p>○発表や作品から感じたことを付箋にまとめ、発表者に渡す(1人2分程度)</p> <p>○クラス全体の作品を鑑賞し、気に入った作品の特に好きだと感じたところにシールを貼る。(色・配置・着色・想いの4項目)</p> <p>○特に好きな作品を3つ選び、ワークシートに記入する。 (10分程度)</p> <p>○鑑賞会を終えての感想・振り返り記入する [じ・し・ゃ・く]☑</p> <p>○一番好きな作品とその理由をformsで送る [TPC](10分程度)</p>	<p>☆作品全体のイメージやテーマ、工夫点、頑張った点を発表すると共に視点をもって鑑賞できるよう、<u>形や色が感情にもたらす効果</u>を確認する。</p> <p>☆机間巡視を行い、適宜声掛けを行う。</p> <p>▲発表ができなかったり、発表が続かなかつたりする生徒に声をかけ、対話よりアピールポイントを出させる。</p> <p>★形や色彩の特徴から対象のイメージをとらえると共に、作品に込められた思いや配色の美しさを感じとろうとしている。鑑【付箋・ワークシート】</p> <p>★作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。鑑【付箋・ワークシート】</p> <p>☆付箋記入の際に「かっこいい」や「すごい」だけではなく、どうしてそう感じたのか具体的に書くよう言葉かけをする。</p> <p>☆好きだと感じた作品の共通点や、自分がもらったコメントを視点として振り返りを行うよう声をかける。</p>
まとめ 5分	○ピクトグラムなど身の回りの単純化されたデザインにも触れながらまとめを伝える。[防災]	★自他の作品のよさや美しさに気づき、次回以降の自分の作品に生かそうとしている。態
	○次回の内容と持ち物を確認する。	

(4)場の設定



(5)板書計画



(6)資料等

マイデザイン発表原稿

1年 組 番 名前： _____

作品タイトル

自分らしさを表すために…

色の工夫は…

配置・構図の工夫は…

特に見て欲しいところは…

自分らしさ	色	配置・構図	塗り

マイデザイン鑑賞プリント

1年 組 番 名前： _____

目標：

作品に込めた想いやアイデアの工夫を伝えあおう！作品や発表から感じたことを伝えあおう！

鑑賞・発表の視点

①自分らしさ ②色 ③配置 ④塗り

1. 班のメンバーからもらった付箋を貼ろう

2. クラス全体の作品を見て、とくに気に入った作品について、感じたことを書こう

出席番号	名前	感想	お気に入り度

今日の振り返り・感想

